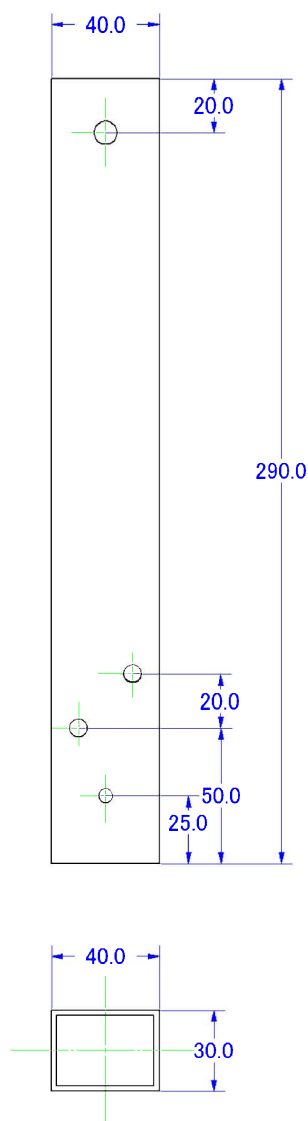


F822 FRP艇 アルミ艇 用スペーサー嵩上げキット

この嵩上げキットはアルミボートやFRPボートの場合、ゴムボートと違ってタイヤを跳ね上げたときにガンネル部(ボートのふち)に当たり跳ね上げきれませんのでコの字のブラケットとトランサムの間には何かスペーサーを入れて取付けるようになります。

トランサムが上からみてラウンド(カーブが付いている艇)している場合は更に木製スペーサー等を挟みトランサムドローが平行に装着出来るように設定してください。



用意する工具 ● 嵩上げキットの場合

- スパナ(8mm、6mm用)もしくはレンチ
- シーリング剤(一番小さいチューブで可)
- ドリル&8mmと6mmのキリ

添付の8mmボルト、6mmボルトで固定しますが艇によっては長さが短い場合は別途お買い求め下さい。
アルミバックプレートはトランサム強度により更に大きい物が必要な場合は随時補強して下さい。

品番	品名	数量
F822-1	F822用アルミ角パイプ嵩上げプレート	2
F822-2	F822用アルミバックプレート8φ	2
F822-3	F822用アルミバックプレート6φ	2
P04-8-60	SUS六角ボルト8-60	2
P05-08	SUSスプリングワッシャーM8	2
P06-08	SUSワッシャーM8	2
P07-08	SUSナットM8	2
P04-6-40	SUS六角ボルト6-40	4
P05-06	SUSスプリングワッシャーM6	4
P06-06	SUSワッシャーM6	4
P07-06	SUSナットM6	4



コチラのQRコードより
弊社通信販売にて
交換部品販売して
おります。



左図のような、ガンネルが出ている艇のトランサムにご使用下さい
トランサム強度はボートメーカーにご確認の上必要な場合は
裏当て等、補強版を付けて下さい。

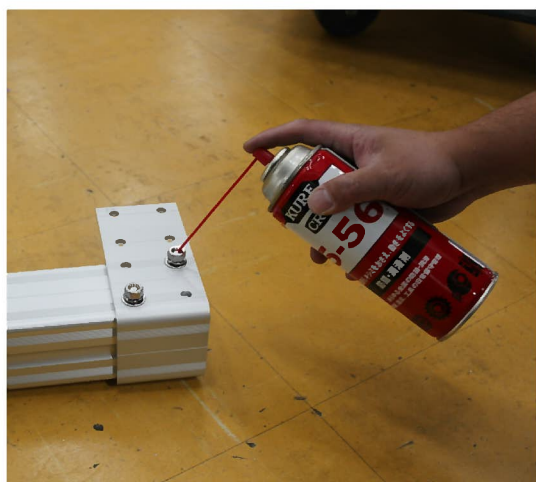
<<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。
また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされていますが、地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。

タイヤご使用上の注意

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
弊社のエアータイヤにつきまして下記のことにご注意してご使用下さい。

TA40F/TA40G/TA40J (ジェットランチャー、ジェットバンク、L700 等に使用)

- チュープレスタイヤですのでチューブは入っておりません。
- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。特に夏場は直射日光で内圧が高まりますので必ず数値内でご使用下さい。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 冬になり気温が低下するとタイヤの内圧が下がり、チュープレスタイヤなので空気が抜けてしまう場合が有ります。船を載せて保管される場合は時々空気圧のチェックをして下さい。
- タイヤが潰れたまま長期放置すると、ヒビ割れして空気の再注入が不可能となってしまいます。長期保管の場合には、台車の下にブロック等を入れておく事をお勧めします。
- エアー漏れでも早期に対処していただければ十分再生します。時々点検していただくようお願い致します。

TA40A(アルミランチャー、トランサムドローリー等に使用)

- タイヤ空気圧は約 0.8kg～1.0kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。
- 交換用タイヤ(外側)とチューブは別途販売しています。適宜交換下さい。

TA30D(サーフ系ランチャー、Z071 前輪等に使用)

- タイヤ空気圧は約 1.0kg～1.5kg位でお願い致します。夏場は気温が上昇し内圧が高まります。また、冬場は低温で空気圧が下がりますので空気圧の点検をお願い致します。
- 運搬の際はなるべく車外で搬送してください。車内に入れる場合は空気圧を必ず 0.5kg以下にして下さい。また、停車時には必ず窓を開けて換気し、直射日光を避けて下さい。
- 空気圧が少ないままの使用、保管はチューブの損傷やタイヤの劣化を早めます。時々点検していただくようお願い致します。

上記全てのタイヤについて





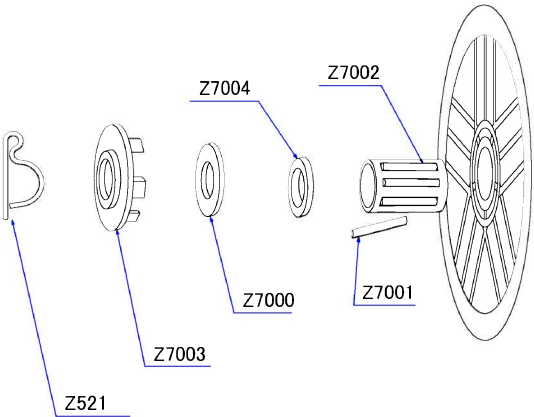
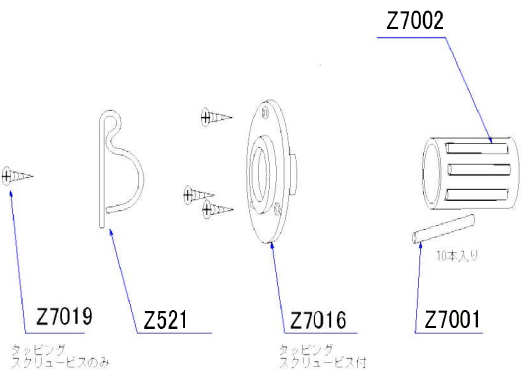
- 車軸部にベアリングが内蔵してあります。ベアリング部にはグリス等を塗布しないようにして下さい。砂、埃、が付着して磨耗の原因となります。ベアリング部は良く水洗いしてください。
- ベアリング部も消耗、紛失した場合は交換用部品がございますので、補修をしてください。
- 空気は、ガソリンスタンド等に置いてある自動車、バイク用の空気入れで入れられます。一般自転車用の空気入れではバルブ形状が合いません。詳しくはHPをご覧ください。

空気圧換算表

kg	Kpa(キロパスカル)	pa(パスカル)	PSI(ポンド)	Bar(バール)
1	100	100000	14.2	1

2018年よりTA40系のベアリングが変更になりました。

下記、相違表をご確認ください。

	旧	新
	2017年まで	2018年から
品番	TA30系	TA40系
キャップ色	ブラック	グレー
固定方法	打ち込み式	ビス止め式
キャップ		 ※適宜ゆるんでないか確認してください。
リム形状	 打ち込み式の形状です	 ※穴は2つ並んであります ビスが締め切らなくなりましたら 隣の穴をご使用ください。 ビス用の穴があります
部品図	 Z521, Z7003, Z7004, Z7002, Z7001	 Z7019, Z521, Z7016, Z7002, Z7001 <small>※Z7019はスクリュービスのみ</small> <small>※Z7016はスクリュービス付</small>
	部品図のZ7003は TA40系には使用できません	部品図のZ7016は TA30系には使用できません